

松禪寺報

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

<http://syozen.com>

第34号

発行 平成21年3月6日

生命の象徴 お墓

「暑さ寒さも彼岸まで」などといいますが、今年も春の彼岸が巡ってきました。境内では松禪寺霊園の最終工事が急ピッチで進められています。年内にはご予約いただいた各家の石塔も建ち並び、彼岸やお盆には参拝される人の姿も少しは賑やかになることでしょう。

ところで「墓」という字は、「草かんむり」の下に「日」と書き、その下に「土」と書きます。つまり、太陽が草の中に沈んで隠れることを示す会意文字で、「土」が加わって死者を隠して見えなくする土盛りの意味があるといえます。人に限らず、動物でも、亡くなれば大地に葬り、



▲ブッダが茶毘に付された場所に建てられたラマバール・ストウパ（インド・クシナガラ）。ストウパとは「土を盛り上げたもの」という意味で、ブッダの遺骨（仏舍利）を土を盛った塚に納めて崇拜の対象にしたのが始まり。今では仏舍利が納められているかどうかにかかわらず「仏塔」としてブッダの象徴として崇拜されている。

うけます。縁ありて子となり親となり、一生懸命仕事をして家族を守り、地域や多くの人々と交流して、最後は命が尽きてこの世とお

別れをし、生かされ続けた肉体は骨となりお墓に入ります。人の生命というものは、肉体を得ることができたらこそ、一生懸命に働いて子どもたちを育て、また人に尽すことによつて、人として生かすことができたとはいえます。

お墓は、亡き人の形見、「生命の象徴」そのものです。その「生命の象徴」に感謝し心を寄せて、大切におまつりして供養する場所がお墓なのです。

お彼岸です。今ある生命に感謝しつつ、ご家族みなでお墓参りいたしましょう。

その上に土をかぶせて見えなくするということ、を、「墓」という字は表しているのです。人間は誰でも、「生命」と「肉体」を親からいただいたこの世に生を

平成二一年度評議員総会を開催

新年度事業及び予算などを承認可決

新年度の予算などを協議する松

禪寺総代会を1月31日（土）の午後、松禪寺で開催しました。協議の冒頭、総代の任期5年が昨年12月で満了しているため、正副筆頭総代の互選を行いました。その結果、筆頭総代（松禪寺花園会会長）には西垣勉氏（栗尾）、副筆頭総代（松禪寺花園会副会長）には平石義信氏（栗尾）がそれぞれ再任されました。

ました。

本年度は、いよいよ「松禪寺霊園」の運営が始まるため、松禪寺霊園墓地管理使用規則と施行内規の説明を行い、事業の円滑な推進に向けて協力を呼びかけました。

なお、当日の資料等につきましては、別途配布いたします「松禪寺花園会資料」をご覧ください。

平成21年度

松禪寺花園会役員

（敬称略）

- 参与 住職 高橋乾峰
- 会長 西垣 勉（栗尾）
- 副会長 平石 義信（栗尾）
- 会計 柴田 巧（栗尾）
- 役員 平石 貞雄（佐田）
- 浅田 鑑三（久畑）
- 福田 春彦（平田）
- 井上 肇（佐々木）

- 評議員 岡田 良造（栗尾）
- 渡辺 富夫（栗尾）
- 柴田 秀幸（栗尾）

- 評議員 西垣 勉（栗尾）
- 西垣 芳典（栗尾）
- 松本 貞之（栗尾）
- 横谷 義明（佐田）
- 中島 大介（佐田）
- 中島美知子（佐田）
- 藤田 和久（久畑）
- 栗田 昭（平田）
- 久世 善樹（佐々木）
- 榎本 五郎（佐々木）
- 榎本 新二（佐々木）
- 以上

永らくのお務めに感謝状贈呈

このたびの任期満了に伴い総代の一部交代がありました。表彰規程にもとづき福田春夫さん（平



田）に感謝状と記念品を贈りました。福田氏は平成11年から総代を務められ、2期10年間にわたり当山護持のために尽力されました。贈呈は、2月11日（水）に開催しました評議員総会の席上で行い、出席者からも慰労の拍手が惜しみなく送られました。

また、同じく今回退任された藤田直治氏は、平成16年から5年間にわたり会計を務めていただき、仕事を補佐していただきました。

お二人のご活躍に感謝申しあげお礼申しあげます。お疲れ様でした。

境内地の静寂に心やすらぐ墓地

松禪寺霊園のご案内

松禪寺ではこのたび境内墓地を
建立いたしました。少子高齢化に
より、お墓があつても後々のお世
話をしてくれる方がいない、と
いった悩みをお聞きすることが増
えてまいりましたが、お寺の境内

地にありますので、維持・管理を
お寺が責任を持っていたしますの
で安心です。

また、お寺の駐車場のすぐ上に
ある墓地ですので、お墓のすぐ近
くまで車が入り、足の悪い方・車
椅子の方でも安心して
お参りできます。

霊園の内容

◎**霊園を使用できる資
格は？**

松禪寺の檀家または
今後檀家になつていた
だけの人です。

◎**申込はどうするの？**

墓地の使用を希望す
る人は、「墓地使用権
取得申請書」を松禪寺
に提出して許可を受け
なければなりません。

なお、墓石の設置、
字彫り、埋骨等を含む

墓地の管理に関わる一切の行為
は、松禪寺が指定する業者に限
ります。

※すでにご予約いただいでい
る皆様には、規則及び申請書な
どを後日お送りいたします。

◎**墓地の区画の広さは？**

墓地の使用は、使用を許可し
た一世帯につき1区画を標準と
し、5.4㎡（3.0m×1.8m）です。
全部で18区画あります。現在、
約10件のご予約をいただいでお
ります。

◎**使用料はいくらですか？**

1区画が30万円です。別途、
縁石代として20万円が必要で
す。

◎**使用料以外の経費は？**

1区画あたり年額5千円を納
めていただきます。10年を限度
として前納も可能です。

◎**永代使用と聞きましたが**

許可なしに使用権を譲渡ある
いは転売したり、他の宗教に転
じて檀家でなくなったり、その
ほか規則に違反したときは使用
許可を取り消します。墓地の返
還は、使用者が現状に復して返
還しなければなりません。

◎**お問い合わせは**

松禪寺かお近くの総代さんにお
問い合わせください。

坐禅会のご案内

坐禅はまず自分の呼吸に意識を
集中するところから始まります。

体と心を調べて静かに坐ると
き、平素は気付きもしなかつた生
の情報が、心に溢れ入ってくるの
がわかります。鳥の声、風の音、
木々の香り……

多忙で複雑な社会環境の中で自
分を見失つてはいませんか。静か
に自分自身を見つめ直し、心を癒
して今を生きましよう。

日時 毎月20日

午後8時より約1時間程度

場所 松禪寺本堂

内容 般若心経の読経

坐禅を15分〜20分ほど組
み、これを2回繰り返し返しま
す。白隠禪師坐禅和讃の読
経、茶礼

※坐禅を組めない人は、正座、イ
スに座つての坐禅もおすすめしま
す。

心に栄養を...

本山定期巡教のご案内

3月17日 午後2時

これは、法句經にあるお釈迦様のお言葉です。

日々仕事に追われ、あるいは目標を失い、今の暮らしがあることへの大切な何かを忘れてはいないでしょうか。

人に生まれてきたならいつかは死ぬ、このことを知識として理解はできても、せつかくいただきたい



▲昨年の定期巡教も多くの皆さんが拝聴されました

ますので、ぜひこの機会に心に「栄養」をつけて、希望と喜びのある暮らしの糧にしてください。どなた様でも、自由にご拝聴ください。

【ご案内】

とき 平成21年3月17日(火)

午後2時より開教

ところ 松禪寺

テーマ 『請う、其の本を務めよ』

どう活かす わたしのいのち

巡教師 岩浅宏志師(出雲市・大龍寺ご住職)

春彼岸法要にお参りください

3月20日 午前11時

今年も彼岸が巡ってきました。彼岸(ひがん)は、祖先を敬い、亡くなった人々を偲ぶ時

節ですが、「感謝」と「懺悔」の日でもあります。彼岸とは、「到彼岸」(とうひがん)の略で、梵語のパラミター(波羅蜜多)の意訳です。悟りの世界を「彼岸」といい、逆に迷いの世界を「此岸」(しがん)といいます。

私たちが「此岸」で苦しむのは、必要以上に物事に執着するから

といわれます。

左記のとおり彼岸会を執り行いますので、ぜひお参りください。そして、「感謝」と「懺悔」をして、新たなスタートを切りましょう。

【春彼岸会のご案内】

日時 3月20日(金)

8時30分 当番による調理開始

11時 彼岸法要

12時 お斎(食事)

松禪寺本堂にて

写経会

はじめます

3月から毎月1回(24日)写経会を始めます。どなたでもご自由に参加できます。最新の研究では脳の活性化効果が高いことも判明しました。ここを調べ、悩みと迷いを断つ写経のちからに触れてみませんか。

【ご案内】

実施日：毎月24日。午前10時〜11時ぐらいます。

場所：松禪寺本堂にて

納経料：1千円

◎「般若心経」の写経です。薄く印刷されたお経の字にしたがって書写する初心者用です。

◎本来は筆で書くものですが、初めは鉛筆や筆ペンで書いても構いません。形式よりも真心が大切なのです。また、筆や硯の準備はできませんが、使い慣れたご自分のものをご持参いただいても結構です。

◎写経用紙は松禪寺でご用意いたします。